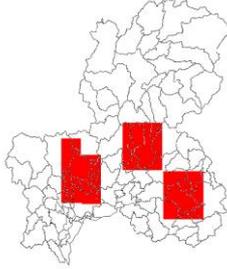


ユウシュンラン	<i>Cephalanthera erecta</i> (Thunb.) Blume var. <i>subaphylla</i> (Miyabe et Kudo) Ohwi	絶滅危惧Ⅱ類
(環境省:絶滅危惧Ⅱ類)		ラン科
選定理由	生育地が限られている上に園芸目的の採取圧がある。	写真(清水英彦) 
形態の特徴	高さは5-15cm。短い楕円形の葉が茎に2枚ほどつく。ギンランに比べると花はやや開き、距は少し突き出ている。全体に華奢な感じである。花期は5月。	
生態的特徴	山地の樹林下や竹林などに生える。	
分布状況	北海道、本州、九州、四国に分布する。岐阜県では美濃地方に分布する。	
減少要因	園芸目的の採取によるが、繊細な植物なので環境の変化で減少することも多い。	
保全対策	採取の禁止。分布情報を公表しないことが望ましい。	
特記事項		
参考文献		

文責:山崎玲子